

2017年11月22日

横浜美術館コレクション展

2017年12月9日(土)ー2018年3月4日(日)

「全部みせます！シュールな作品 シュルレアリスムの美術と写真」

【写真展示室】特集展示：石内都「絶唱、横須賀ストーリー」

横浜美術館

2017年12月9日(土)より開催のコレクション展では、横浜美術館が収集を続けてきたシュルレアリスムの名品をご覧ください。本展は3つの展示室をフルに使って、当館所蔵のシュルレアリスムに関わった作家の作品を可能な限りまとめてご覧いただく、開館以来はじめてのコンセプトです。

また、写真展示室では、同時開催の企画展「石内都 ^{きめ}肌理と写真」の開催を記念し、当館の所蔵する石内都のデビュー作「絶唱、横須賀ストーリー」のヴィンテージプリント55点を全点展示いたします。

展示構成

1. 上手である必要はない
2. 手さぐりの風景
3. その風景は、見つかることもある
4. 探していたのは、これだった
5. 女神か怪物か、それとも？
6. あなたは私のどこが…
7. おとなの人形あそび
8. 讚える方法
9. 死を克服する方法
10. 絵と言葉が出逢った
11. シュルレアリスムはスタイルか？

横浜美術館のシュルレアリスム・コレクション

横浜美術館では、開館前の1983年からシュルレアリスムの作品を収集してきました。マグリット、デルヴォー、ダリ、マン・レイ、エルンスト、アルプ、ミロ、マッソンといった代表的作家についてはそれぞれ複数点収蔵され、油彩画だけでなく、コラージュや彫刻、版画、写真など、さまざまなジャンルに挑戦した彼らの多彩な創作活動を見ることができます。また、チリ出身のマッタ、カナリヤ諸島出身のドミンゲス、キューバ出身のラムや、イギリスのアームストロングなど、国籍や民族を超えたシュルレアリスムの広がりやを代表する作品もあります。

写真についても、マン・レイのほかに、ベルメール、シュティルスキーやヴォルスなど、少しマニアックな作品を含む充実したコレクションが形成されています。



サルバドール・ダリ《ガラの測地学的肖像》1936年
テンペラ、板 21.0×27.0cm
©Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí,
JASPAR Tokyo, 2017 G0962



マン・レイ《標的》1933年(1971年再制作)
ミクストメディア
(石膏、木、ベニヤ板、写真、マネキンの腕)
66.0×50.5×24.0cm
©MAN RAY TRUST / ADAGP, Paris & JASPAR,
Tokyo, 2017 C1767



イヴ・タンギー《風のアファベット》1944年
油彩、カンヴァス 100.0×81.0cm



アンドレ・マッソン ルネ・クルヴェル『断筒集』の挿画
1965年出版(ルイ・プロデ、パリ)
エッチング、アクアチント 20.5×17.5cm
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2017 C1767



インドリッヒ・シュティルスキー
『この頃の針の先で』より 1934-40年
ゼラチン・シルバー・プリント 9.4×9.0cm



ヴォルス《無題》1933年(1979年のプリント)
ゼラチン・シルバー・プリント 24.7×24.0cm

【写真展示室】 特集展示：石内都「絶唱、横須賀ストーリー」

石内都は現在、国際的に最も高く評価される写真家のひとりです。「絶唱、横須賀ストーリー」は、初個展（1977年）で発表された、石内の原点と言えるデビュー作です。横須賀は石内が少女時代を過ごした街であり、いつまでも馴染むことのできなかつた場所として、その身に深く刻まれています。荒々しい肌合いのプリント一枚一枚から、戦後日本の影を背負った土地・横須賀に対する複雑な思いが伝わってきます。本展では当館の所蔵するヴィンテージプリント全55点とともに、石内が撮影時に使用した地図や書籍などの貴重な資料（作家蔵）も展示します。



石内 都 《絶唱、横須賀ストーリー #58》1976-77年
ゼラチン・シルバー・プリント 45.5×55.8cm
© Ishiuchi Miyako

展覧会のみどころ

○当館コレクション展史上初のシュルレアリスムの総特集！国内外約50作家の約300点が集結。

当館所蔵のシュルレアリスムに関わった作家の作品を可能な限りまとめてご紹介する本展。海外の約40作家に、日本の約10作家を加えた、約50作家の多彩な作品をご紹介します。

○豊富な写真作品を紹介！

本展は、横浜の街を舞台に開催される「PHOTO YOKOHAMA 2018」（1月～3月開催）のパートナーイベントです。特集展示のみならず、シュルレアリスムのパートでも、マン・レイ、アジェ、ブラッサイ、アンドレ・ケルテスほか、写真作品を豊富にご紹介いたします。

関連イベント

○学芸員によるレクチャー「シュールな美術のたのしみ方」

「讚える方法」「絵と言葉が出逢った」などいくつかの展示セクションに焦点を絞って、出品作の魅力に迫ります。

日時 2018年2月11日（日）
14:00～15:45（13:30開場）

会場 円形フォーラム

定員 80名

申込み・参加費 不要（先着順）、無料

○ギャラリートーク

さまざまな切口で学芸員やエドゥケーターが作品の見どころや楽しみ方を紹介します。

日時 2017年12月22日、
2018年1月12日・26日、2月9日・23日
いずれも金曜日、14:00～14:30

会場 コレクション展展示室

申込み・参加費 不要、無料（当日有効の観覧券が必要）

基本情報

横浜美術館コレクション展 2017年12月9日（土）～2018年3月4日（日）

「全部みせます！シュールな作品 シュルレアリスムの美術と写真」

会場 横浜美術館（〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1）

TEL:045-221-0300 FAX:045-221-0317 <http://yokohama.art.museum/>

開館時間 10:00～18:00 *3月1日（木）は10:00～16:00、3月3日（土）は10:00～20:30（入館は閉館の30分前まで）

休館日 木曜日（ただし3月1日〔木〕は開館）、年末年始（2017年12月28日〔木〕～2018年1月4日〔木〕）

主催 横浜美術館

観覧料 一般500(400)円 大学・高校生300(240)円 中学生100(80)円 ※小学生以下無料

*（ ）内は有料20名以上の団体料金（要事前予約）

*障がい者手帳をお持ちの方と介護の方（1名）は無料

*毎週土曜日は、高校生以下無料（生徒手帳、学生証をご提示ください）

*企画展ご観覧当日に限り、企画展の観覧券でコレクション展もご覧いただけます

*毎月第3月曜日は横浜市在住の65歳以上の方無料（「濱ともカード」をご提示ください）

プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当（鈴木、藤井、^{かいと}堀内、山崎）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel: 045-221-0319 Fax: 045-221-0317 Email: pr-yma@yaf.or.jp